

どうする原子力発電、太陽光発電の未来は？

エネルギー問題 静岡フォーラム

勉強会と交流のつどい

日時 9月29日 (日) 14時～16時45分頃

会場 掛川市生涯学習センター 会議室

参加費 1人300円 (資料代など) PV-Net 会員は200円

講演 1、原子力発電と太陽光発電、エネルギーシフトについて

3. 11福島原発を風化させない

講師 藤井石根 太陽光発電所ネットワーク理事長

(明治大学名誉教授 工学博士)

2、東海地震と津波、浜岡原発、そして太陽光発電

講師 鮫島嗣視 太陽光発電所ネットワーク静岡副代表

3、市民共同発電所建設の取り組み報告 (伊豆の国市への)

太陽光発電所ネットワーク 静岡

交流 自由討論 (PV-Net へのご意見など含めなんでも)

皆さまの参加をお願いします。

お問い合わせ・お申し込みは裏面をご覧ください

太陽光発電所ネットワーク 静岡地域交流会

皆さま こんにちは

あの3・11大震災からもうすぐ2年半が過ぎようとしています。
が、復興の道はまだ見えていません。特に福島原発事故は明らかな人災、いまだ15万人もの人が故郷に戻れない状況にあります。
補償もあまり進んでいないと聞いています。

この間、野田民主党政権は、30年代に原発ゼロをめざすとしましたが、早々に福島終息宣言をだし大飯原発を再稼働、大間の新設を認めました。
安倍内閣が誕生し、早速原発ゼロの見直し宣言、原発輸出外交の先頭に立つなど原発推進へ逆戻りしています。原子力の平和利用という口実でこれまで原発推進を凶ってきた張本人は自民党、あれだけの事故を引き起こした反省はあるのでしょうか。

今、日本のエネルギー政策がどこに向かうのか、重要な岐路に立っています。
私たち市民がもっと賢くなって、様々な意見や世論作りに貢献できるように大いに勉強しなければならない時と思います。
その一助になればと、「フォーラム」を計画しました。太陽光発電所ネットワークは原発問題を正面から取り上げる組織ではありませんが、原発問題を抜きにエネルギーを語ることもできません。

講師の藤井石根さんは当太陽光発電所ネットワーク(PV-Net)の理事長であり工学博士として自然エネルギーや原子力にも精通しています。
また鮫島嗣視さんは、太陽光発電の普及に力を入れながら、地震津波などにも詳しく磐田市に居住していることもあって浜岡原発を心配している方でもあります。

また、昨年私たちは伊豆の国市エメラルドタウンに遊休地利用の「市民共同発電所」(伊豆の国電気の畑)をつくり、今年6月には2号基も完成させました。これらの報告に加え、結成以来10年を経過したPV-Netの役割などPV-Netへの皆様のご意見をお聞かせください。

どうぞ、皆様のご来場を心からお待ちします。

主催 太陽光発電所ネットワーク (PV-Net)

静岡地域交流会世話人代表 田中東紀男

090-8542-4070

メール tanaka.toki@sf.tokai.or.jp

自宅・FAX 055-963-9167